

県民意識調査にご協力ください

この調査は、県政運営の基本指針である「新・宮城の将来ビジョン」に関する取組について、県民の皆様の重視度・満足度、今後優先すべきテーマなどについてお聞きするものです。県では、その結果を基に計画の着実な推進を図るとともに、今後の施策や県政運営に反映させたいと考えております。

お忙しいところお手数をお掛けいたしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

▼ 郵送で回答する場合

手順 1

調査票（本紙）
に記入



手順 2

同封の返信用封筒
に入れる

手順 3

ポストに投函

12月20日（金）まで

▼ インターネットで回答する場合

手順 1

QRコード
を読み取り



手順 2

専用フォームへアクセス
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1729580355922>

手順 3

回答・送信

12月20日（金）まで

または「宮城県民意識調査」と検索し、
県のホームページ（県民意識調査について）に掲載しているリンクから、回答ページにアクセス

▼ デジタル身分証アプリ(ポケットサイン)で回答する場合

手順 1

●ご用意いただくもの

- ①NFC対応のスマートフォン
- ②マイナンバーカード
- ③マイナンバーカード交付時に
設定した4桁の暗証番号



詳しい手順は
QRコードを
読み取り
ください

QRコードを読み取り
ダウンロード



登録完了後のホーム画面で
「アンケート」をタップ

回答フォーム
「令和6年県民意識調査」

回答・送信
12月20日（金）まで

※NFC 対応とは、おサイフケータイやタッチ決済機能が搭載されているスマートフォンのことです。

インターネットまたはデジタル身分証アプリから回答の際は、
以下の ID (6桁数字) を始めに入力の上、回答を進めてください。

※郵送回答との重複を確認するためのものであり、
個人を特定するものではありません。

◆ 調査対象者

県内にお住まいの18歳以上の方4,000人を、選挙人名簿等から無作為に抽出させていただきました。

◆ 調査基準日

調査票は、令和6年11月1日時点でご記入ください。

◆ 調査回答の方法

調査をお願いしたご本人（封筒の宛名となっている方）がお答えください。

なお、ご記入の際は、濃い鉛筆やボールペンなどをご使用ください。また、一旦ご記入した内容を訂正する場合は、訂正後の回答がはっきり分かるようにしてください。

本調査は紙（本紙）、インターネットまたはデジタル身分証アプリでご回答ください。

◆ 記入いただいた調査票について

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、12月20日（金）までに、切手を貼らずにそのままポストに投函してください。

なお、調査は無記名で行いますのでお名前やご住所は記載不要です。また、調査結果は個人を特定できないよう統計的に処理するとともに、調査目的以外の利用はいたしませんので、皆様の率直なご意見をご記入くださいますようお願いいたします。

※インターネットまたはデジタル身分証アプリで回答した場合は、本調査票は返送不要です。

◆ 調査結果について

この調査の結果は、令和7年3月頃に、県のホームページ（県民意識調査について）、県政情報センター、各地方振興事務所及び各地域事務所の県政情報コーナー（仙台地方振興事務所は除きます）、議会図書室（県議会庁舎）でお知らせします。

調査票の構成

- | | | | |
|---|--------------------|-------|-------------|
| 1 | あなたご自身のことについて | | （3～4 ページ） |
| 2 | 新・宮城の将来ビジョン（※）について | | （5～15 ページ） |
| 3 | その他の取組について | | （16～22 ページ） |
| 4 | 今回の調査に対するご意見について | | （23 ページ） |

※「新・宮城の将来ビジョン」の概要については、県のホームページをご覧ください。

新・宮城の将来ビジョン

検 索

➤ 【問い合わせ】

宮城県企画部 総合政策課 行政評価班
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号
電 話：022-211-2406 FAX：022-211-2493
メール：seisakug@pref.miyagi.lg.jp

➤ 【県のホームページ】（県民意識調査について）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/ishiki-gaiyou.html>



あなたご自身のことをお聞きします。

問1 性別（あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。）

1 男 2 女 3 その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）

問2 あなたの年代は以下のうち、どれに該当しますか。

1から9のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代
6 60代 7 70代 8 80代 9 90代以上

問3 現在お住まいの市区町村名をご記入ください。

なお、県外にお住まいの方は本調査の対象外となります。

（ ）市・区・町・村

※仙台市在住の方は区名を、それ以外の方は市町村名をご記入ください。

問4 あなたを含めて同居のご家族は何人ですか。

（ ）人

付問1 同居のご家族（あなたも含めます）の中に、以下の方はいらっしゃいますか。

1から6のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

1 乳幼児（小学校就学前の子） 2 小学生
3 中学生 4 高校生
5 大学生（各種学校を含む） 6 65歳以上の方

問5 あなたは、宮城県にお住まいになって通算何年になりますか。

通算（ ）年

問6 あなたの職業について、1から7のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。
 ※【2】にあてはまる方は、さらに【①】から【④】のあてはまる番号に○をつけてください。

- 1 自営業主・家族従業者
- 2 被用者（雇われている人）
- ① 会社員
- ② 公務員・独立行政法人職員
- ③ パート・アルバイト・フリーター
- ④ その他（ ）
- 3 企業役員・団体代表等 4 専業主婦（主夫） 5 学生
- 6 無職 7 その他（ ）

付問1 問6で【1】【2】【3】【7】を選んだ方にお聞きします。
 現在の仕事の内容について、1から18のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。
 ※複数の職業をお持ちの場合は、最も従事割合の高いものを選んでください。

- | | | |
|----------------|---------------|--------------------|
| 1 農業、林業 | 2 漁業 | 3 鉱業、採石業、砂利採取業 |
| 4 建設業 | 5 製造業 | 6 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 7 情報通信業 | 8 運輸業、郵便業 | 9 卸売業、小売業 |
| 10 金融業、保険業 | 11 不動産業、物品賃貸業 | 12 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 13 宿泊業、飲食サービス業 | 14 教育、学習支援業 | 15 医療、福祉 |
| 16 その他のサービス業 | 17 公務 | |
| 18 その他（ ） | | |

新・宮城の将来ビジョンについてお聞きます。

令和3年度から10年間の計画として「新・宮城の将来ビジョン（以下、「ビジョン」といいます。）」がスタートしています。「新・宮城の将来ビジョン」では、今後見込まれる社会の変化等を踏まえながら、将来の宮城のあるべき姿や目標を県民の皆さんと共有し、その実現に向けて取り組んでまいります。

○ビジョンの位置づけ

県政運営の基本的な指針であり、県の施策や事業を進める上での中長期的目標と位置づけるものです。ビジョンでは、宮城県の特徴や各地域の特性を踏まえ、将来にわたり発展し続けていく宮城を構築するため、県として重点的に取り組むべきテーマや目指す姿などを明確にした上で、その実現に向けた中長期的な取組の方向性を示しています。

○計画期間

10年間（前期：令和3年度～令和6年度、中期：令和7年度～令和9年度、後期：令和10年度～令和12年度）

○「持続可能な未来」のための8つの「つくる」

ビジョンでは、4つの政策推進の基本方向に基づき、「持続可能な未来」のための8つの「つくる」を推進します。

政策推進の基本方向1 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

つくる1 ～新しい価値～
全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる

つくる2 ～成長の基礎～
産業人材の育成と産業基盤の活用によって
持続的な成長の基礎をつくる

政策推進の基本方向3 誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

つくる5 ～いきいき～
一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる

つくる6 ～安全安心～
健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

政策推進の基本方向2 社会全体で支える宮城の子ども・子育て

つくる3 ～子育て～
子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

つくる4 ～教育～
社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

政策推進の基本方向4 強靱で自然と調和した県土づくり

つくる7 ～自然と共存～
自然と人間が共存共栄する社会をつくる

つくる8 ～県土～
世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

◆ これから8つの「つくる」について質問しますので、「つくる」ごとの説明を読んだ上で、質問にお答えください。

つくる！ 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる

農林水産業やものづくり産業、観光産業、商業・サービス産業などにおいて、変化する時代のニーズに対応するため、最新の技術を使い、商品やサービスの質を向上させ、働く時間や労力を削減する取組を進めます。

《つくる！で県が行う主な取組》

取組1 産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出

【主な取組】

- ・地域経済の核となるものづくり産業の誘致や集積を進めるとともに、先進的技術の活用を促進し、ICT産業等の振興を図る。
- ・次世代放射光施設「ナノテラス」を中心とした研究開発拠点の形成に向けて、産学官の連携を促進し、産業や地域の課題解決を目指す。
- ・ものづくり産業のさらなる技術力・収益力の向上に向けて、付加価値の高い製品・サービスの開発を支援する。



【主な成果等】

- ◎県内における企業立地件数【累計】（R6までの目標：465件） 347件（R1）→410件（R5）
- ◎産学官連携の取組件数（R6までの目標：2,594件） 2,234件（R1）→3,463件（R5）
- ◎県の製造品出荷額等（食料品製造業を除く）（R6までの目標：4兆1,289億円）
4兆80億円（H30）→4兆7,669億円（R4）

取組2 宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興

【主な取組】

- ・高付加価値な観光産業の実現のため、地域資源を活かした観光コンテンツの創出・磨き上げや関連産業との連携強化に取り組む。
- ・施設改修・人材育成等の受入環境整備や戦略的な情報発信により国内外からの観光客を増やす。
- ・地域特産品の開発、商店街ビジョン形成、新たな担い手の創出や買い物の利便性を高める等、地域課題やニーズに対応した商業・サービス業の振興を図る。

【主な成果等】

- ◎観光客入込数（R6までの目標：7,000万人） 6,796万人（R1）→6,824万人（R5）
- ◎外国人延べ宿泊者数（R6までの目標：50.0万人泊） 53.4万人泊（R1）→51.5万人泊（R5）
- ◎観光消費額（R6までの目標：3,990億円） 3,989億円（R1）→3,985億円（R5）
- ◎サービス業の付加価値額（R6までの目標：2兆8,560億円）
2兆7,720億円（H29）→2兆8,272億円（R3）

取組3 地域の底力となる農林水産業の国内外への展開

【主な取組】

- ・需要の変化に対応した園芸の生産・流通体制の構築を支援する。
- ・スマート水産業の推進、担い手の確保・育成など漁村地域の活性化に取り組む。
- ・新たな木質建材の技術開発や担い手対策の強化のほか、ICT技術を活用したスマート林業を推進する。
- ・県産品の付加価値を高める商品開発と国内外への販路拡大を支援する。

【主な成果等】

- ◎園芸産出額（R6までの目標：467億円） 333億円（H30）→319億円（R4）
- ◎漁業産出額（R6までの目標：789億円） 789億円（H30）→922億円（R4）
- ◎林業産出額（R6までの目標：101億円） 85億円（H30）→113億円（R4）
- ◎製造品出荷額等（食料品製造業）（R6までの目標：6,900億円） 6,576億円（H30）→7,160億円（R4）

つくる1について、あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください（複数選択可）。

- 1 県内に新たな企業を呼び込み、最新技術の活用を進める
- 2 研究開発の拠点を集め、企業、大学と連携して地域産業を活性化する
- 3 ものづくり産業の発展を支援する
- 4 地域の持ち味を活かし、収益力が高い観光産業を実現する
- 5 魅力的な観光地づくりや効果的な観光情報の発信により、観光客を増やす
- 6 高齢化や過疎化などで衰退した商業・サービス業を復活させる
- 7 農林水産業や食産業を将来にわたり発展させる
- 8 農林水産物の国内外へのPRや、生産管理を支援する
- 9 食の安全・安心を確保する

つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

県内産業が将来にわたって成長していくため、高度な専門性などを身に付けた人材を育成し、活躍できる環境を整えるほか、事業アイデアの実現や経営力の強化など企業の経営を支援します。また、空港や港湾、道路や農地などの産業基盤を整備・活用するほか、東北のゲートウェイ機能*を一層強化するため、東北各県が観光やビジネスで協力できる体制をつくります。

《つくる2で県が行う主な取組》

取組4 時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備

【主な取組】

- ・子どもたちが地域産業に触れる機会を創出しながら、県内での就職や地元定着の促進により、産業人材を育成する。
- ・誰もが柔軟に働き続けるための環境を整備するとともに、リカレント教育*等のキャリアアップに向けた体制を整備し、その利用拡大を推進する。
- ・個人や企業が市場ニーズへの対応や地域課題の解決ができるよう、事業アイデアの実現や経営力強化に向けた支援制度を充実させる。



【主な成果等】

- ◎高校生の県内製造業就職率(R6までの目標:35.0%) 32.6%(H30)→35.8%(R4)
- ◎リカレント教育*等の取組件数(R6までの目標:62件) 59件(R2)→66件(R5)
- ◎開業率(県内で新規開業した事業所の割合)(R6までの目標:4.8%) 3.6%(R1)→3.2%(R5)

取組5 時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用

【主な取組】

- ・仙台塩釜港(仙台港区)について、AI や IoT 等先進的技術も活用しつつ、物流拠点機能を整備・強化し、その利活用を推進する。
- ・全国初の民営化空港である仙台空港について、民間の力を最大限に活用し、その利活用を推進する。
- ・ここ宮城を玄関口に、全国、全世界から東北へ広くヒト・モノを呼び込む「東北のゲートウェイ」としての港湾、空港等インフラを活用しつつ、東北各県との連携を更に強化し、交流人口の拡大を推進する。

【主な成果等】

- ◎仙台塩釜港(仙台港区)におけるコンテナ貨物の取扱量(実入)(R6までの目標:18.1万TEU) 19.7万TEU(R1)→16.4万TEU(R5)
- ◎仙台空港乗降客数(R6までの目標:371.0万人) 371.8万人(R1)→355.0万人(R5)
- ◎東北6県及び新潟県の延べ宿泊者数(R6までの目標:3,835万人泊) 4,294万人泊(R1)→3,946万人泊(R5)

つくる2について、あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 県内への就職・就業を進め、人材を育て、担い手を確保する
- 2 誰もが希望どおり働き続けるための環境を整える
- 3 リカレント教育*を支援する
- 4 個人や企業の事業アイデアの実現や経営力の強化を支援する
- 5 空港や港湾、漁港、道路、農地、森林等を整備する
- 6 空港や港湾、漁港、道路、農地、森林等の産業基盤を有効活用する
- 7 他地域から東北に呼び込むゲートウェイ機能*を強化する

*リカレント教育
学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すこと。

*ゲートウェイ機能
全国、世界から東北へ広くヒト・モノを呼び込む玄関口としての機能。

つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

結婚・妊娠・出産を望む人たちの希望が叶えられ、子育てを行う人たちの負担や不安が少なくなるよう、様々な支援を充実させながら、子ども・子育てを社会全体で支える環境づくりを進めます。また、家庭・地域・学校が協力して、宮城の未来を担う子どもたちの教育や成長を支えます。

《つくる3で県が行う主な取組》

取組6 結婚・出産・子育てを応援する環境の整備

【主な取組】

- ・結婚・妊娠・出産の希望を叶えるために、「みやぎ結婚支援センター」により結婚支援事業を実施し、結婚支援の強化を図る。
- ・地域や関係機関と連携し、妊娠・出産期から子育て期までの切れ目のない支援の充実を図る。
- ・社会全体で子育てに取り組む気運を醸成し、安心して子育てができる環境を整備する。

【主な成果等】

◎みやぎ結婚支援センター登録者数(R6までの目標:1,000人) 201人(R2)→1,768人(R5)

※R2の実績は、「みやぎ青年婚活サポートセンター」のもの。

◎「みやぎっこ応援の店」登録店舗数【累計】(R6までの目標:3,000店) 2,181店(R1)→2,878店(R5)

◎保育所等利用待機児童数(仙台市含む)(R6までの目標:0人) 340人(R1)→18人(R5)

取組7 家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築

【主な取組】

- ・貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、地域や関係機関と連携し、成育環境の整備や教育機会の均等を図る。
- ・地域や関係機関の連携による児童虐待の防止や、要保護児童に対する社会的養育体制の充実を図る。
- ・社会全体で家庭教育を支える環境づくりや子どもの基本的な生活習慣の定着に向けた取組を促進する。



こども食堂の様子

【主な成果等】

◎県内におけるこども食堂の数【累計】(R6までの目標:180か所) 70か所(R2)→154か所(R5)

◎里親委託率(R6までの目標:51.4%) 37.6%(R1)→34.7%(R5)

◎「家庭教育支援チーム」の活動件数(R6までの目標:101件) 79件(R1)→314件(R5)

つくる3について、あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 結婚・妊娠・出産を望む人たちを支援する
- 2 子育て家庭の心理的・経済的な負担を少なくする
- 3 安心して子育てができるような職場や社会の環境をつくる
- 4 すべての子どもが健やかに育ち、安心して教育を受けられる環境をつくる
- 5 社会全体で虐待から児童を守る
- 6 子どもが基本的な生活習慣などを身に付けられるように家庭を支援する
- 7 家庭・地域・学校が協力できるような仕組みを強化する

つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

子どもたちが、夢や目標を持ち、多様な社会に適応する力や挑戦する力をはぐくみます。また、子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができる教育体制を整えます。

《つくる4で県が行う主な取組》

取組8 多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成

【主な取組】

- ・体系的なキャリア教育による、豊かな人間性や社会性をはぐくむ取組を推進する。
- ・確かな学力の育成と新しい価値を創造する力をはぐくむ取組を推進する。
- ・健康な身体づくりや体力・運動能力の向上に向けた取組を推進する。

【主な成果等】

◎「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合

小5(R6までの目標:92.0%) 90.6%(R1)→88.5%(R5)

中2(R6までの目標:73.0%) 71.0%(R5)※令和4年度までは中1を対象に調査

◎全国平均正答率とのかい離(ポイント)

小6(R6までの目標:0P) -3.0P(R1)→-4.5P(R6)

中3(R6までの目標:0P) -3.5P(R1)→-5.0P(R6)

◎体力合計点の全国平均値とのかい離(ポイント)

小5(R6までの目標:男女ともに +0.1P) 【男】-0.36P(R1)→-0.31P(R5) 【女】-0.33P(R1)→-0.42P(R5)

中2(R6までの目標:男女ともに +0.1P) 【男】+0.08P(R1)→+0.87P(R5) 【女】-1.01P(R1)→-0.62P(R5)

取組9 安心して学び続けることができる教育体制の整備

【主な取組】

- ・魅力や特色のある学校づくりに向けた取組を推進する。
- ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた切れ目のない支援体制を整備する。
- ・教員の資質能力の向上に向けた取組を推進する。

【主な成果等】

◎「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合

小5(R6までの目標:88.0%) 83.0%(R1)→86.9%(R5)

中2(R6までの目標:86.5%) 86.2%(R5)※令和4年度までは中1を対象に調査

◎不登校児童生徒のうち学習支援を受けている児童生徒の割合

小学生(R6までの目標:90.0%) 68.5%(R1)→93.7%(R4)

中学生(R6までの目標:94.0%) 72.6%(R1)→89.5%(R4)

◎授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合(R6までの目標:72.5%) 66.5%(R1)→72.9%(R4)

つくる4について、あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 他の人と協調し、人を思いやる心や、自然や美しいものに感動する心などをはぐくむ
- 2 基礎的な学力や考える力・表現する力を高める
- 3 最新技術や国際化に対応するための能力をはぐくむ
- 4 健康な身体づくりや体力・運動能力の向上を進める
- 5 子どもたちが行きたくなるような学校づくりを進める
- 6 多様な子どもたちに合わせた教育体制をつくる
- 7 いじめの防止対策や学校に登校していない児童生徒一人ひとりに応じた支援を行う
- 8 教職員のスキルアップや働きやすい学校づくりに取り組む

つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる

年齢・性別・障害の有無・国籍等を問わず誰もが自分らしく社会に関わることができる環境をつくり、様々な交流や地域活動等を促進します。また、文化芸術・スポーツの力を活用し、県民の活動や学びのための場、人づくりを支え、豊かな暮らしや地域の活性化につなげます。

《つくる5で県が行う主な取組》

取組 10 就労や地域活動を通じた多様な主体の社会参画の促進

【主な取組】

- ・「女性のチカラを活かす企業」認証制度を普及し、女性も働きやすい環境づくりを促進する。
- ・県内市町村が行う地方創生の取組を支援し、地域コミュニティの機能強化や活性化を図る。
- ・県内企業が外国人材を受け入れるための環境整備を支援し、外国人雇用者と企業のマッチングを促進する。

【主な成果等】

- ◎女性のチカラを活かすゴールド認証企業数(R6までの目標:46社) 34社(R2)→43社(R5)
- ◎地方創生推進交付金の活用事業数(市町村分)【累計】(R6までの目標:283事業) 162事業(R2)→276事業(R5)
- ◎外国人雇用者数(技能実習生を除く)(R6までの目標:15,033人) 9,118人(R1)→11,711人(R5)

取組 11 文化芸術・スポーツ活動と生涯学習の振興

【主な取組】

- ・「みやぎ県民文化創造の祭典」を支援し、誰もが文化芸術に親しめる環境をつくる。
- ・「総合型地域スポーツクラブ」の設立を支援し、誰もがいつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツを楽しめる環境を整える。
- ・地域社会と結びついた学びの場の充実を図り、誰もが生涯を通して主体的・自発的に学び、その成果を社会に還元できる環境を整備する。

【主な成果等】

- ◎「みやぎ県民文化創造の祭典参加者」文化芸術が身近な所で様々な分野に活用され地域の活性化に役立っていると思う人の割合(R6までの目標:60.0%) 27.5%(R2)→77.3%(R5)
- ◎「総合型地域スポーツクラブ」市町村における育成率【累計】(R6までの目標:100.0%) 77.1%(R2)→77.1%(R5)
- ◎市町村社会教育講座の参加者数(人口千人あたり)(R6までの目標:756人) 744人(H30)→373人(R4)

つくる5について、あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 誰もが自分らしく活躍できる雇用環境の整備、就労を支援する
- 2 女性や高齢者等が活躍できる社会をつくる
- 3 地域のつながりを強化し活性化させる
- 4 外国人が活躍しやすい社会をつくる
- 5 県民が行う文化芸術活動への支援や文化芸術に親しむ機会を増やす
- 6 文化芸術やスポーツの持つ力を様々な分野で活用する
- 7 アスリートへの支援や県民がスポーツを楽しむ機会を増やす
- 8 様々な学びの機会を提供し、人材育成を進める

つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

県民一人ひとりが、健康で安全安心に暮らし続けられる地域社会をつくるため、医療・福祉、防犯、交通など生活に必要不可欠なサービスが、地域の実情や社会の変化に対応しながら維持し続けられるよう、地域の関係機関などと連携して体制整備を進めます。

《つくる6で県が行う主な取組》

取組 12 生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供

【主な取組】

- ・「スマートみやぎ健民会議」を基盤とし、健康づくり県民運動を推進する。
- ・将来、自治体病院等で勤務を希望する医学生・看護学生に対し、修学資金の貸し付けを行う。
- ・介護職の働き方改革支援、外国人受入支援に加え、介護のイメージアップを図る事業を展開する。

【主な成果等】

- ◎メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合（R6までの目標：29.4%以下） 30.9%（H30）→32.2%（R4）
- ◎県の施策による自治体病院等（県立病院を除く）への医師配置数及び新規看護職員充足率
医師配置数（R6までの目標：179人） 114人（R1）→108人（R5）
新規看護職員充足率（R6までの目標：100.0%） 77.6%（R1）→75.7%（R5）
- ◎介護サービス事業所の介護職員数【累計】（R6までの目標：40,177人） 32,870人（R1）→34,027人（R4）

取組 13 障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現

【主な取組】

- ・障害者の地域生活移行促進のため、グループホームの整備支援を行う。
- ・精神障害者の支援の導入期から退院後までの継続した支援や、退院支援に取り組む。
- ・就労支援事業所を対象に、商品開発や販路拡大に向けた支援を行う。

【主な成果等】

- ◎グループホームの利用者数（R6までの目標：3,146人） 2,536人（R1）→3,177人（R4）
- ◎入院中の精神障害者の地域生活への移行（入院期間1年以上の長期在院者数）（R6までの目標：2,506人以下） 3,092人（H30）→2,759人（R5）
- ◎就労継続支援B型事業所等における工賃の平均月額（R6までの目標：25,000円） 17,477円（R1）→21,078円（R5）

取組 14 暮らし続けられる安全安心な地域の形成

【主な取組】

- ・地域の実情やニーズに応じた暮らしやすい環境の整備や就業の場の確保に向け、先進的技術の活用や商店街の活性化等による「まちづくり」を支援する。
- ・犯罪の起きにくい環境づくりに向け、サイバー空間の脅威、特殊詐欺、子どもや女性への声かけ事案等の被害防止対策を推進する。
- ・交通事故のない社会に向け、交通安全に対する気運醸成や安全対策を推進する。

【主な成果等】

- ◎商店街の活性化状況（営業店舗増減率）（R6までの目標：95.0%） 99.0%（R2）→94.6%（R5）
※営業店舗数の減少幅を抑えることを目的としている。
- ◎刑法犯認知件数（警察が把握した犯罪の件数）（R6までの目標：10,193件以下） 10,193件（R2）→11,583件（R5）
- ◎交通事故死者数（R6までの目標：44人以下） 44人（R2）→47人（R5）

つくる6について、あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 心と身体の健康を保てるよう、あらゆる世代への支援体制を強化する
- 2 日常の医療から高度な医療まで、切れ目のない医療サービス提供体制をつくる
- 3 感染症の発生及びまん延を防ぎ、必要な医療を受けられる体制をつくる
- 4 介護予防や生活支援サービスの充実・介護人材の確保などを進め、高齢者が安心して暮らせる地域をつくる
- 5 障害や障害者に対する理解・関心を深め、障害のある人もない人も共に支え合う社会をつくる
- 6 誰もが暮らしやすいユニバーサルデザイン*に配慮したまちづくりを進める
- 7 障害者や難病患者等が安心して暮らせるよう、福祉サービスを充実させる
- 8 生活に必要な交通手段を提供する事業者を支援し、地域に適した移動手段を確保する
- 9 商店街の魅力を高め、地域のにぎわいをつくる
- 10 地域が一体となって、犯罪や交通事故などが起きにくい環境をつくる

*ユニバーサルデザイン…年齢や障害の有無にかかわらず、すべての人が使いやすいように工夫された用具・建造物などのデザイン。

つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる

自然との共生や環境への負担の少ない社会づくりを進めていくことで、「豊かな暮らし」の実現を目指し、次の世代に伝えていきます。

《つくる7で県が行う主な取組》

取組 15 環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立

【主な取組】

- ・地域特性を踏まえた再生可能エネルギーを利活用した取組を行う地域のまちづくり団体等を支援し、多様な再生可能エネルギーの地産地消を推進する。
- ・県民・市町村等に対して啓発活動を行い、廃棄物のリサイクルを推進する。
- ・HPや情報紙「みやぎの消費生活情報」、出前講座等を活用し、人や社会、環境に配慮したエシカル消費（地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動）の普及啓発を図る。

【主な成果等】

- ◎再生可能エネルギー等の導入量(熱量換算) (R6までの目標:42,248TJ) 33,473TJ(R1)→40,420TJ(R5)
- ◎一般廃棄物のリサイクル率(R6までの目標:27.7%) 25.5%(H30)→22.8%(R4)
- ◎環境に配慮されたマークのある商品を選ぶことを意識する人の割合(R6までの目標:60.0%) 46.2%(R1)→33.0%(R3)

取組 16 豊かな自然と共生・調和する社会の構築

【主な取組】

- ・流域全体が協力・連携した水循環の保全や、適正な野生鳥獣の保護管理策を推進する。
- ・「木育」等、木を使う文化を育てる取組を推進する。
- ・農山漁村が持つ多様な機能の維持・発揮に向け農山漁村環境の保全に努める。
- ・交流人口や関係人口の拡大に向けた農山漁村の受入環境を整備する。

【主な成果等】

◎野生鳥獣の捕獲数

イノシシ(R6の目標:15,000頭) 10,791頭(R1)→10,546頭(R5)

ニホンジカ(R6の目標:4,200頭) 3,551頭(R1)→4,271頭(R5)

◎森林認証取得面積【累計】(R6までの目標:20,000ha) 13,320ha(R2)→11,974ha(R5)

◎日本型直接支払制度取組面積(地域活動や営農の継続等に対して支援を行う農地の面積)

(R6までの目標:74,200ha) 75,208ha(R1)→76,759ha(R5)

◎農村環境保全等の協働活動に参加した人数【累計】(R6までの目標:66,500人) 58,102人(R1)→66,042人(R5)

つくる7について、あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 環境汚染の防止や地球温暖化対策をはじめとする環境問題への理解を深め、環境にやさしい行動をする
- 2 エネルギーを無駄なく使い、再生可能エネルギーの利用を増やす
- 3 環境問題の解決につながる産業を成長させる
- 4 ゴミを減らしながら、できるだけ再利用やリサイクルをする
- 5 ゴミの不法投棄等をなくし、正しく処分する
- 6 地域の生き物がこれからも暮らし続けられる自然環境を守る
- 7 森林や水辺、農山漁村について学べる環境をつくる
- 8 農村・漁村、森林など地域の豊かな恵みを守りながら、色々な面で積極的に活用する
- 9 農村・漁村の暮らしや景観等を活かして都市部から人を呼び込む

つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

災害の被害を防ぐために、防災・減災を考慮した道路、河川などの整備、防災教育、自助・共助・公助による地域の防災体制づくり等を進めます。また、古くなった公共施設や、道路、水道などのインフラについて、計画的な維持管理を進めるとともに、安全で信頼性のある管理体制をつくります。

《つくる8で県が行う主な取組》

取組 17 大規模化・多様化する災害への対策の強化

【主な取組】

- ・女性や若者を含めた防災リーダー育成の推進や自主防災組織の活性化を図る。
- ・震災の教訓を踏まえ、県民の防災訓練の参加促進及び防災教育の充実等、県民の意識向上を図る。
- ・大規模・多様化する自然災害に備え、洪水・土砂災害防止、耐震化や高潮対策等の整備を促進するとともに、関係機関と連携した防災体制の充実を図る。

【主な成果等】

- ◎女性防災リーダー養成者数(宮城県防災指導員)(R6までの目標:1,350人)
856人(R1)→1,543人(R5)
- ◎地域住民と連携した避難訓練を実施している学校の割合(R6までの目標:70.0%)
47.8%(R1)→46.7%(R5)
- ◎河川整備率(R6までの目標:38.7%) 37.4%(R2)→38.6%(R5)

取組 18 生活を支える社会資本の整備、維持・管理体制の充実

【主な取組】

- ・予防保全型の考え方により、インフラの長寿命化対策を推進する。
- ・道路や河川などの公共空間について、企業や地域住民が清掃・美化、管理活動を行うアドプトプログラムを推進する。

【主な成果等】

- ◎橋梁の長寿命化対策率【累計】(R6までの目標:48.0%) 7.0%(R2)→44.3%(R5)
- ◎港湾施設の長寿命化対策率【累計】(R6までの目標:58.3%) 30.6%(R1)→58.3%(R5)
- ◎アドプトプログラム認定団体数【累計】(R6までの目標:684団体) 641団体(R2)→727団体(R5)

つくる8について、あなたの重視度と満足度について、それぞれあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

重視度	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない	5 分からない
満足度	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない

今後優先すべきと思うテーマについて、次の中から番号を選び○をつけてください(複数選択可)。

- 1 東日本大震災の経験を活かし、災害発生時の対応力を高める
- 2 企業や町内会等と連携し、地域における防災体制を強化する
- 3 避難訓練などを通じて、県民の防災意識を高める
- 4 防災に関する教育を充実させ、学校の防災体制を強化する
- 5 施設の整備や情報提供体制の強化などにより、災害への備えを充実させる
- 6 道路、水道等のインフラを計画的に整備するとともに、適切に維持管理する
- 7 企業や地域住民と協力した公共施設管理の取組を進める

暮らしの満足度についてお聞きします。

問1 あなたの日常生活及び社会生活において、次の1から10の項目の満足度について、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

	1 満 足	2 やや満足	3 やや不満	4 不 満	5 分からない
1 仕事の状況や収入	1	2	3	4	5
2 ワークライフバランス（仕事と生活）	1	2	3	4	5
3 出産・子育てのしやすさ	1	2	3	4	5
4 現在の学校教育の内容や環境	1	2	3	4	5
5 コミュニティの賑わいなど社会とのつながり	1	2	3	4	5
6 文化・芸術・スポーツへの親しみ	1	2	3	4	5
7 医療・福祉・介護サービス	1	2	3	4	5
8 余暇活動や生きがいなど生活の楽しさ	1	2	3	4	5
9 身の回りの自然環境や公園の充実	1	2	3	4	5
10 安心安全のための防犯や防災	1	2	3	4	5

問2 あなたは、宮城で暮らして良かったと思いますか。
1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 良かった | 2 どちらかといえば良かった |
| 3 どちらかといえば良くなかった | 4 良くなかった |
| | 5 分からない |

防災意識についてお聞きします。

問1 あなたは、地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃どのような対策を行っていますか。
1から11のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 非常用持出品の用意
- 2 食料・飲料水、生活用品の備蓄
- 3 ハザードマップによる災害リスクの確認
- 4 家具等の転倒・落下による被害の防止
- 5 自然災害に備えた保険等への加入
- 6 避難場所、避難ルート、家族間の連絡方法・行動ルールの事前確認
- 7 マイ・タイムライン等（災害時に自分自身がとる防災行動の計画表（上記6））の作成
- 8 地域での防災活動・避難訓練への参加
- 9 震災の経験や教訓を学ぶこと、伝えること
- 10 防災対策はしていない
- 11 その他（ ）

付問1 問1で【10】を選んだ方にお聞きします。

防災対策をしていない主な理由は、どのようなことですか。

1から6のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 役に立つかどうか分からないから
- 2 地域の防災に関する情報を知らないから
- 3 費用が負担になるから
- 4 災害が起きても自分の地域は大丈夫と思うから
- 5 災害が起きても行政の対応等で問題ない考えるから
- 6 その他（ ）

宮城県の復旧・復興の進捗状況についてお聞きします。

問1 あなたは、東日本大震災の記憶の風化について実感することがありますか。
1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 常に実感する 2 たまに実感する
3 あまり実感したことはない 4 実感したことはない 5 分からない

※【3】【4】【5】を選んだ方は問2に進んでください。

付問1 問1で【1】【2】を選んだ方にお聞きします。

どのようなことに、震災の記憶の風化を実感しますか。

1 から 9 のうち、あてはまる番号に○をつけてください（3 つ以内）。

- 1 自分自身の意識
2 家族との会話
3 被災地の友人・知人との会話
4 被災地以外の友人・知人との会話
5 新聞やテレビなどでの取り上げ方
6 日々の生活の状況
7 行政の予算や支援
8 分からない
9 その他()

問2 宮城県の復旧・復興の取組について、もっと力を入れてほしいと思う取組はどれですか。
1から18のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

分野1 生活再建の状況に応じた 切れ目のない支援	1 被災者の心のケア 2 児童生徒の心のケア 3 地域コミュニティ再生 4 文化芸術による心の復興 5 震災遺児孤児支援
分野2 回復途上にある産業・ なりわいの下支え	6 中小企業支援 7 雇用の維持・確保 8 観光振興 9 農林水産物の販路開拓 10 海洋がれき処理
分野3 福島第一原発 事故被害への対応	11 損害賠償請求支援 12 除染関連 13 放射能検査 14 風評対策（安全情報の発信）
分野4 復興事業のフォローアップと 成果・教訓の伝承	15 震災の検証 16 震災伝承 17 情報発信
18 その他	

デジタル・トランスフォーメーション(DX)についてお聞きします。

問1 普段の生活や仕事・地域活動、行政サービスにおいて、DX（デジタル技術を活用した変革）が進んでいると感じますか。

下記の①から③について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

① 生活

【具体例：スマートフォンでインターネットを通じて買い物ができる。

お店でキャッシュレス決済（クレジットカードやバーコード決済など）を利用できる。など】

- 1 感じる 2 ある程度感じる 3 どちらでもない・わからない
4 あまり感じない 5 感じない

② 仕事・地域活動

【具体例：テレワーク（自宅や外出先でパソコン等を利用して仕事をする）が進んでいる。

スマートフォンアプリやSNSを通じて地域イベントや自治会の情報が届く。など】

- 1 感じる 2 ある程度感じる 3 どちらでもない・わからない
4 あまり感じない 5 感じない

③ 行政サービス

【具体例：行政への申請手続きがインターネットでできる。コンビニで住民票が取得できる。など】

- 1 感じる 2 ある程度感じる 3 どちらでもない・わからない
4 あまり感じない 5 感じない

問2 DXにより、普段の生活や仕事・地域活動、行政サービスが便利になったと感じますか。

下記の①から③について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

① 生活

- 1 感じる 2 ある程度感じる 3 どちらでもない・わからない
4 あまり感じない 5 感じない

② 仕事・地域活動

- 1 感じる 2 ある程度感じる 3 どちらでもない・わからない
4 あまり感じない 5 感じない

③ 行政サービス

- 1 感じる 2 ある程度感じる 3 どちらでもない・わからない
4 あまり感じない 5 感じない

問3 今後、宮城県がDXを推進すべき分野について、あなたが特に重要だと考えるものはどれですか。1から15のうち、あてはまる番号に○をつけてください（3つ以内）。

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1 子育て支援 | 2 教育の充実 |
| 3 社会参画の促進 | 4 文化振興・生涯学習・スポーツ振興 |
| 5 医療・福祉の充実 | 6 安全安心の確保（防犯・防災） |
| 7 中小企業支援 | 8 雇用の確保・産業人材の育成 |
| 9 農林水産業の振興 | 10 観光・商業の振興 |
| 11 移住定住・地域振興 | 12 環境保全・エネルギー政策 |
| 13 インフラ（道路・河川・公共施設等）管理 | 14 行政サービス |
| 15 その他（ ） | （行政手続のオンライン化、マイナンバーカードの活用等） |

宮城県の地域公共交通についてお聞きします。

問1 あなたは、お住まいの地域の公共交通を利用していますか。

下記の①から③について、あてはまる番号をそれぞれ選び○をつけてください。

① 利用頻度<1つ選択>

- 1 1週間に5日以上 2 1週間に2～4日 3 1か月に数日 4 1年に数日
5 ほとんど利用しない

② 主な利用目的<1つ選択>

- 1 通勤 2 通学 3 通院 4 買い物 5 その他 ()

③ 利用種別<複数選択可>

- 1 鉄道・地下鉄・BRT 2 高速バス 3 路線バス 4 タクシー
5 その他 ()

※①で【1】【2】【3】【4】を選んだ方は問2に進んでください。

付問1 問1①で【5】を選んだ方にお聞きします。

下記の①から②について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選び○をつけてください。

① 公共交通を利用しない理由

- 1 最寄りの駅やバス停が遠いため 2 希望時間帯に運行していないため
3 移動時間を短縮するため 4 人混みを避けるため
5 その他 ()

② 公共交通を利用しない場合の移動手段

- 1 自家用車（バイク含む） 2 家族等による送迎
3 自転車 4 徒歩 5 その他 ()

問2 お住まいの地域の公共交通について、あなたはどの程度満足していますか。

1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 満足している 2 どちらかといえば満足している
3 どちらかといえば不満である 4 不満である

問3 お住まいの地域の公共交通について、あなたが感じていることはありますか。

1から14のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| 1 運行本数が少ない | 2 希望する時間に利用できない |
| 3 自宅から駅・バス停が遠い | 4 駅・バス停から目的地までが遠い |
| 5 車と比較して時間がかかる | 6 遅延が発生しやすい |
| 7 利用方法が分かりにくい | 8 公共交通同士の乗継ぎが不便 |
| 9 運行経路が分かりにくい | 10 乗り場のバリアフリー化が進んでいない |
| 11 混雑により座席に座れない | 12 運賃が高い |
| 13 運賃の支払い方法が限られる | 14 その他 () |

犯罪被害者等支援についてお聞きします。

問1 犯罪被害に遭われた方やそのご家族、ご遺族（以下「犯罪被害者等」といいます。）は、犯罪被害だけでなく、被害後に生じる様々な問題（二次的被害）に苦しめられています。あなたが、二次的被害として特に大きな問題だと思うものは何ですか。1から8のうち、あてはまる番号に○をつけてください（3つ以内）。

- 1 事件に遭ったことによる精神的ショックや身体の不調
- 2 医療費の負担や失職・転職、転居などによる経済的困窮
- 3 失職・転職などによる就労上の負担
- 4 捜査や裁判などの刑事手続に伴う負担
- 5 マスコミの取材や報道によるプライバシーの侵害
- 6 周囲の人々によるうわさ話や興味本位の質問
- 7 第三者によるインターネットへの書き込み
- 8 被害者等を支援する人や機関による不適切な対応

問2 県では、「宮城県犯罪被害者等支援条例」を制定し、犯罪被害者等の支援に取り組んでいます。あなたが、犯罪被害者等の支援として特に必要性が高いと思うものは何ですか。1から10のうち、あてはまる番号に○をつけてください（3つ以内）。

- 1 相談や、支援施策に関する情報提供を行う総合的窓口
- 2 弁護士などによる法律相談
- 3 被害直後における安全確保のための一時避難場所
- 4 警察署や医療機関等への付き添い
- 5 医療の提供やカウンセリング
- 6 家事、育児、介護など生活面の支援
- 7 転居せざるを得なくなった場合の住宅の支援
- 8 失職や転職を余儀なくされた場合の就労の支援
- 9 損害賠償請求の支援
- 10 見舞金や給付金、生活資金の援助・貸付などの経済的支援

問3 あなたは、犯罪被害者等を支援する気運を高めるために、県がどのような取組を進めるとよいと思いますか。1から9のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 学校における児童生徒への教育
- 2 県民を対象とした講演、研修、シンポジウムの開催
- 3 事業者を対象とした講演、研修、シンポジウムの開催
- 4 駅、公共施設、商業施設などでのイベント開催
- 5 関連キャラクターを活用したPR
- 6 テレビ、ラジオなど画像・音声媒体を活用した広報
- 7 新聞・雑誌、ポスター、リーフレットなど紙媒体を活用した広報
- 8 ホームページ、SNS、動画投稿サイトなどによるインターネット媒体を活用した広報
- 9 その他（ ）

アドバンス・ケア・プランニング<ACP>（人生会議）についてお聞きします。

問1 あなたは、アドバンス・ケア・プランニング<ACP>（人生会議）を知っていますか。

アドバンス・ケア・プランニング<ACP>（愛称：人生会議）とは、
もしものときのために、自分自身が望む医療やケアについて前もって考え、
家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1 まったく知らない | 2 言葉を聞いたことがある程度 |
| 3 ある程度知っている | 4 よく知っている（他人に詳しく説明できる） |

※【1】を選んだ方は問2に進んでください。

付問1 問1で【2】【3】【4】を選んだ方にお聞きします。

「アドバンス・ケア・プランニング<ACP>（人生会議）」をどのようにして知りましたか。1から14のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 市町村の広報誌・ホームページ | 2 市町村が作成したエンディングノートやリーフレット |
| 3 新聞記事 | 4 テレビ |
| 5 ラジオ | 6 インターネット・SNS |
| 7 医療関係者（かかりつけ医や看護師など） | 8 介護関係者（ケアマネジャーなど） |
| 9 地域包括支援センター | 10 家族・友人 |
| 11 雑誌・書籍 | 12 講演会など |
| 13 医療機関・介護施設などのホームページやポスター | |
| 14 その他（ | ） |

問2 あなたは、ご自身やご家族などの人生の最終段階における医療・ケアに関して、家族などや医療・ケアチームとどの程度話し合ったことがありますか。1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1 まったく話し合ったことがない | 2 現在のところ話し合う予定はないが、いずれ話し合いたい |
| 3 一応話し合ったことがある | 4 詳しく話し合ったことがある |

※【2】【3】【4】を選んだ方は問3に進んでください。

付問1 問2で【1】を選んだ方にお聞きします。

「まったく話し合ったことがない」理由を教えてください。1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1 話し合いたくないから | 2 話し合う必要性を感じていないから |
| 3 話し合うきっかけがなかったから | 4 知識がなく、何を話し合ってよいかわからないから |
| 5 その他（ | ） |

問3 アドバンス・ケア・プランニング<ACP>（人生会議）を行うに当たり、必要だと思うものがありますか。1から9のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1 受けられる医療・ケアに関する情報 | 2 家族など周りの方の理解 |
| 3 医療関係者からのアドバイス | 4 介護関係者からのアドバイス |
| 5 医療関係者・介護関係者ではない方による体験談 | |
| 6 講演会など | |
| 7 話し合った内容を記録できる書式 | 8 特にない |
| 9 その他（ | ） |

問1 あなたは、宮城県の治安をどのように感じていますか。
1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- ※【1】【2】【5】を選んだ方は問2に進んでください。

1から8のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

-)

1から10のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

-)

1から18のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

-)

最後に、この調査に対するご意見などをお聞きます。

問1 この調査についてどのように感じましたか。

下記のそれぞれの項目について、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

① 設問の量

1 少ない

2 ちょうど良い

3 多い

② 文章説明の分かりやすさ

1 分かりやすい

2 ふつう

3 分かりにくい

③ 文字の量

1 少ない

2 ちょうど良い

3 多い

④ 記入方法の分かりやすさ

1 分かりやすい

2 ふつう

3 分かりにくい

問2 この調査に回答するために、合計でどのくらいの時間がかかりましたか。

1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1 1時間未満

2 1時間以上2時間未満

3 2時間以上3時間未満

4 3時間以上

問3 この調査は、県民の意見を県政に反映させる方法として適切だと思いますか。

1から4のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1 適切である

2 どちらかといえば適切である

3 どちらかといえば適切ではない

4 適切ではない

付問1 問3で【3】【4】を選んだ方にお聞きます。

あなたは、県民の意見を県政に反映させる方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。ご意見・アイデアなどがございましたらご記入ください。

問4 県政全般について、ご意見、ご要望などがございましたら下の枠内にご記入ください。

<< ご協力ありがとうございました >>

ご記入いただいた調査票は12月20日（金）までに投函をお願いします。
本調査は無記名ですので、封筒にはお名前やご住所を書かずにポストに投函してください。

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

環境に優しい植物油インキを使用しています。再生紙を使用しています。

県民意識調査 調査票 令和6年11月 宮城県

